

〔研究課題〕 転移性肺腫瘍に対する肺切除症例データベース作成のための多施設共同コホート研究

〔研究目的〕 肺は腫瘍の転移を起こしやすい臓器の一つです。転移性肺腫瘍に対して手術を行うときに、どのような特徴のある患者さんに治療のメリットが有るか、またどのような手術を行うのが良いか、といった詳細な点までは明らかになっていないのが現状です。

〔研究意義〕 これからの標準治療の確立のための基礎データを構築することで、より良い治療方法を検討できます。

〔対象・研究方法〕 転移性肺腫瘍に対して肺切除術を受けられた患者さんの診療記録(情報:画像診断情報、原発臓器に対する治療内容、治療内容、血液所見、転機等)を使用させていただきます。また他の医療機関(別紙リスト)からも個人情報がわからないように加工された同様の患者情報の提供を受けて、データを統合して行う研究です。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院

なお、本研究に参加する共同研究機関は次ページに記載されているとおりである

〔個人情報の取り扱い〕 診療情報については個人が特定できる情報を削除して個人が特定できないようにして管理します。論文発表後 10 年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、紙媒体の診療情報についてはシュレッダーにて廃棄、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。



: 2-11-1
TEL:03 3964 1211 () 33618

施設名	住所
	3-8-31
	35
	1981
	666-2
	1-8-1
	6-1-1
	7-3-1
	4-9-13
	880
	1-20-1
	3-1-24
	3-2
	6-20-2
	6-11-1
	2-5-1
	1800
	1010
	2-11-1
	2-2 L5
	1-1
	3-25-8
38	3